

長浜曳山祭 青海山 伽羅 先代萩御殿の場の一幕です。  
 コロナ禍を乗り越え稽古に励み迎えた晴れの日。精一杯演じる役者たちの姿は、多くの人々に感動と勇気を与えました。



笑いから生まれるひと時の幸せ

白扇落語会 主宰 森のりこ 範子さん (八幡中山町)

「笑いには人を幸せにする力があるんです。嫌なことも忘れられるひと時を提供したい」。森さんは落語の面白さを広めることをめざす「白扇落語会」の主宰を務めるかたわら、自らもアマチュア落語家として高座に上がります。

広島県尾道市出身。大学進学を機に上京します。就職後10年の月日が経ち、仕事で多忙を極め、疲れた体を休めようと偶然立ち寄った寄席。そこで落語との運命的な出会を果たします。その洗練された構成と巧みな話術に惹き込まれ、落語を聴いて笑っている間は、仕事の疲れやプレッシャー、ストレスから解放され、とても幸せな気持ちになったそうです。「これが落語の神髄。この時の感情は忘れることができない」と当時の感動を語ります。

平成27年に東京都豊島区で開催されている三遊亭圓窓師匠の落語教室を知り、「自分も落語を学び、演じ、感動を与えたい」と受講。プロの落語家

が直接稽古をつけることは珍しく、第一線で活躍する落語家から、発声方法などの技術の基礎から学び、要亭光樹井という芸名で高座に上がるようになります。

その後、夫の転勤で長浜に。古典落語では歌舞伎を題材にした噺も多く、長浜曳山祭の子ども歌舞伎との縁を感じる」と、平成31年1月に「白扇落語会」を立ち上げ、会の名は、まささらな扇子のように初心を忘れないとの思いから名付けられました。

定期的な落語会や落語教室で、着実に落語ファンを増やしてきましたが、一時は、コロナ禍で中止も検討したのだとか。しかし、「1人でも落語を聞きたい人がいれば」との強い意志から、感染予防対策を徹底し、開催に漕ぎつきました。

「継続していくには、良質な落語を安価に提供することが大切」と、自らプロの落語家やアマチュア大会入賞者などとの出演交渉に奔走します。森さんのその直向きな思いに共感して出演を快諾する人も多く、繋がりも広がっています。

「これからは、若い世代が落語に触れる機会を作りたい」と中学校での落語会に挑戦。「そしてゆくゆくは、落語を長浜の観光資源にし、貢献していきたい」と大きな夢を抱きます。落語の可能性を信じ、目標に向かって森さんの歩み先には、笑顔が溢れています。

未来を創る子どもたち

学校・園活動紹介 50

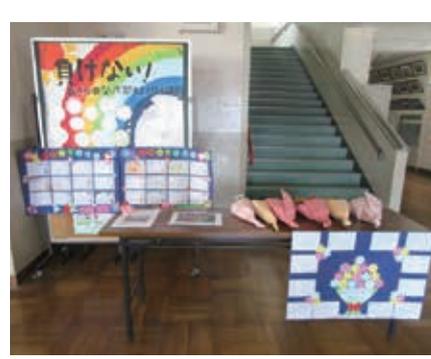
七郷小学校

「天使の活動」

ふれあいで思いやりの心を育む

七郷小学校は、湧出山を仰ぐ高層地域の北西部に位置し、校区は「七郷」の名のごとく七つの地区から構成されています。『笑顔あふれる花と天使の学校』を合言葉に、地域の支援を受け、人とのふれあいを大切に、心豊かな子どもたちの育成に努めています。

本校を代表する活動が、「病院訪問」を中心とする『天使の活動』です。病院訪問は今年で73年を迎えます。地域から寄せられるたくさんのお花を花束にまとめ、手紙とともに湖北病院の患者さんに届けます。また、集会室で歌や合奏、朗読を聞いてもらったりもします。涙を流して感激する人もおられて、心温まる貴重な体験となります。残念ながら昨年度は新型コロナウイルスの影響から、子どもたちが直接病室を訪問することはできませんでしたが、これまでの訪問を振り返り、その意味を見直す



▲心を込めた寄せ書きと花束

- 長浜子どものちかい～わたしたちはちかいます～
- 元気にあいさつをします
  - 名前を呼ばれたら「はい」と返事をします
  - 「ありがとう」「ごめんさい」をすなおに言います
  - 困っている人がいたら言葉をかけます
  - 人の話をしっかり聞きます

- 長浜子育て憲章～おとなが実践します～
- 子どもに誠実に生きる姿を見せます
  - 見守るまなざし、叱る勇気を大事にします
  - ルールとマナーを教え、奉仕の心を育みます
  - 自然や人々に感謝の心でふれあう子どもを育てます
  - 長浜に誇りをもち、地域に貢献する子どもを育てます

学校・教育関係の情報が満載  
 ▲市教育委員会フェイスブック

人口と世帯数 令和3年4月1日現在

人口	116,444人 (-319)
男	57,069人 (-137)
女	59,375人 (-182)
世帯数	46,673世帯 (+109)

( )は前月との比較

長浜市の情報をスマホでチェック

長浜市 ホームページ	Facebook 長浜市ほっとにゆ〜す	Facebook 長浜市教育委員会	Instagram #長浜ちよびつく	YouTube はま〜るtb.	広報紙をスマホで マチイロ	イベント情報を配信 LINE

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けしているほか、市民交流センターや図書館、まちづくりセンターなど市の公共施設やスーパー、診療所などにも置いています。また、市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。声の広報も作成していますので、ご希望の場合は政策デザイン課まで。

